

People 1.1 2007

Contents

市長あいさつ	2
がんばったきみたちに◎	4
はーとtoはーと展	6
筑西あらかると	8
お知らせ	12



ふるさとの祭りを描く

筑西市名誉市民で文化勲章受章者の洋画家・森田茂先生（東京都）が、昨年11月2日から24日まで東京都美術館で開催された第38回日展に、『夜半の祭』を出品しました。この作品は、ふるさとをこよなく愛する森田先生が、筑西の夏の風物詩である下館祇園祭りを描いたものです。

森田茂『夜半の祭』第38回日展



祭りは、昼も夜も賑やかだが、殊に夜は、荒手が出て、緊張の時となる。闇を照らす盞数の提灯の動きが面白く、神輿の装飾も、黄金に輝いて荘厳である。大神輿の重量も感しらず、ただ、形だけが動いてゆく。やっしよいやっしよいの音が、大きく響いてくる。我を忘れた賑やかさの中に入る。

『夜半の祭』は、下館の祇園祭を題材にして、描きました。私の、幼い頃には、お神輿の渡御は、夜通しで行われました。暗闇の中、たくさんの提灯が、美しく輝いていたこと、勇壮な掛け声のことなど、全体が大きな印象になって、鮮やかに思い出されます。故郷は、懐かしく、私にとって、とても大切なものなのです。今春、私は、満百歳になります。本年も、力の限り、絵を描き続けたいと思います。

森田茂